

2024年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 弥富市商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価										備考			
				目標①		目標②		得られた効果		ABCD評価					今後の展開・改善点等		
				指標	実績	指標	実績	満足度	必要性	自己評価	調査結果	目標①	目標②		実施方法①	実施方法②	
巡回・窓口相談指導事業	地域内事業者の大多数を占める小規模事業者の経営基盤の安定強化や、新規創業・経営革新への積極的支援を実施し、事業継続のための個別支援を行うため、巡回及び窓口において相談指導を行う。	・巡回窓口指導実企業数 760社 (内創業9社 非会員 40社) ・巡回窓口指導延件数 1,452件 (内創業13件 非会員71件) ・課題解決提案件数 37件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 161.3 %)	指標	課題解決提案件数 (達成度 123.3 %)	事業環境変化への対応が図れるよう、より多くの小規模事業者の相談相手となることで、事業継続の支援に努めた。専門家派遣を活用しながら伴走型支援により課題解決が図れ、小規模事業者の持続的発展に貢献することができた。	総合評価	A	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	小規模事業者支援の柱であり、事業環境に対応し、事業継続が図れるよう引き続き事業を実施する。また、小規模事業者の課題把握と解決策の提案を行う。	○
記帳継続指導事業	商工会の職員が個人事業主等を対象に正しい記帳法の指導と決算・確定申告の指導を行い、適正な税務申告と経理の自計化計数管理による経営力の向上に結び付ける。	・指導対象者数 107人 ・指導延日数 797日 ・指導延回数 805回	小規模事業者	指標	記帳継続事業所数 (達成度 101.9 %)	指標	(達成度 %)	適正な税務申告と自計化に結び付き、日頃から計数感覚を養うことができた。また、記帳機械化により事業者の経理事務の軽減と適正な税務申告・電子申告に繋がった。	総合評価	A	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	小規模事業者の記帳事務軽減と計数把握による経営力の向上が図れるため積極的に記帳機械化の募集を行う。あわせて電子申告の普及・利用を推進する。	○
講習会事業	多様化する経営環境に対応するため、小規模事業者にとって必要な金融・税務・経理・労働・情報化等の知識習得や、時宜に即したテーマでの講演等、事業者の資質向上と円滑な事業運営に資することを目的とする。	講習会開催回数及び受講者数 集団 21回 受講者数 303人 個別 25回 受講者数 103人	小規模事業者	指標	集団受講者数 (達成度 121.2 %)	指標	個別受講者数 (達成度 85.8 %)	集団講習会については定額減税制度の周知を図ることで適正な制度理解に繋がることができた。また、生成AIの活用による業務効率化講習会を実施し、経営力向上に繋がった。個別相談会では個別経営相談やSNS集客についての支援を行うことができた。環境変化に対応することができた。	総合評価	A	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	個別講習会も含め実務的な講習会を開催する。生成AIを活用するための講習会を開催し、生産性向上を図るとともに増加傾向にある創業希望者向け講習会の充実を図る。	○
地域産業祭事業	各種のお祭り・祭典などを開催することにより、その集客力を活かして地域の経済活動を促進し地域の産業や地域資源、観光資源をPRすることで地域の総合的な振興を図ることを目的とする。	・やとみ青空市(4月20日) 来場者数 2,000人 ・海南こどもの国 秋まつり(11月9日・10日) 来場者数 15,000人 ・桜まつり(3月29日・30日) 来場者数 8,000人	小規模事業者 祭典来場者	指標	やとみ青空市・秋まつり来場者数 (達成度 178.9 %)	指標	桜まつり来場者数 (達成度 80.0 %)	地域住民に対し商工会及び各事業所のPRを行うことで、地域企業の発展に寄与することができ、参加事業所間の交流にも繋がった。また、創業支援ブースの設置により、創業への機運醸成が図れるとともに、実態把握が出来た。	総合評価	A	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	地域住民に対し商工会や事業所のPRを促進することで、参加事業者の販路開拓に繋げる。また、創業者を増やすため、機運醸成を図る。	
地域振興事業	地域懇談会を開催し、地域の実態を把握するとともに地域経済振興に関する施策を検討するなど、地域活性化に向けた各種事業に取り組み、地域振興、地域商工業の発展に寄与することを目的とする。	・支部事業 9回 参加者数 157名 ・ごみ袋等販売契約者数 84事業所	小規模事業者	指標	支部事業参加者数 (達成度 196.3 %)	指標	ごみ袋等販売契約者数 (達成度 100.0 %)	支部総会をはじめ支部事業等の実施により、地域の事業所間の交流や情報交換ができた。弥富市指定のごみ袋販売業務を行うことで、地域住民の利便性向上に繋がることができた。	総合評価	A	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	地域事業所間の交流が図れ、地域ならではの課題や情報収集を図るため引き続き実施する。県、市の施策、商工会事業のPRを行うと共に、地域の要望を集約する場としていく。	
商店街振興事業	消費者の生活形態の変化、郊外型大型店等への購買力流出など、地元中小事業者が抱える様々な経営課題解決に向け、地域活性化、集客力向上につながる魅力あるイベント事業の実施等、地元事業者の活性化を通じて地域振興、街づくりに寄与することを目的とする。	街路灯本数(補助金申請分) 228本	小規模事業者	指標	市補助金電灯料申請本数 (達成度 97.0 %)	指標	(達成度 %)	廃業者の増加や商店街の衰退により、管理負担割合が大きくなってきているため、弥富市の街路灯電灯料補助金により負担の軽減を図った。また街路灯の維持・管理を図ることで、環境美化や地域の防犯に役立った。	総合評価	B	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	老朽化や廃業による管理者不在などの街路灯を整理する。商店街及び個店の魅力アップ、また、環境美化や防犯にも繋がる事業のため引き続き実施する。	
地域産業活性化事業	地域商工業者の声を聞き、地域の特性を活かした地域資源の活用や企業の発展及び地域産業の活性化につなげることを目的とする。	会員懇談会(6月4日) 参加人数 109人 会員交流研修会(1月17日) 参加人数 49人	小規模事業者	指標	参加人数 (達成度 98.8 %)	指標	(達成度 %)	各地域間や異業種間の出会いの場として交流を深める機会となり、会員の要望も確認することができた。併せて、商工会のPRも図れ、スムーズな事業運営に役立った。	総合評価	B	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	異業種交流の場となり好評ではあったが、より多くの交流の場となるよう周知に力を入れていきたい。また、効果が高まるよう工夫しながら実施する。	

2024年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 弥富市商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価											備考			
				目標①		目標②		得られた効果		ABCD評価				今後の展開・改善点等				
				指標	参加人数 (達成度 130.5 %)	指標	(達成度 %)	指標	実績数値	指標	実績数値	自己評価	調査結果	満足度		補足	目標①	目標②
青年部・女性部事業	社会福祉活動を通じて地域との関わりを持つことで地域社会の発展に寄与すると共に、将来、地域のリーダーとなる人材を創出する。また、部員同士の交流により各々の経営改善の機会を創出する。	・青年部総会及び全体会議等 17回 142名 ・女性部総代会及び役員会 5回 72名 ・研修会等 3回 73名 他に海部支部事業、県連事業に参加	小規模事業者	指標	参加人数 (達成度 130.5 %)	指標	(達成度 %)	青年部として、事業計画の立案・実施を通じて、経営者としての資質向上に繋がった。商工業に携わる女性として必要な教養、資質向上に繋がった。また、活動を通じて地域住民へのPRが図れ、女性や若手経営者、後継者が集まることで、商工会事業の活性化に繋がった。	総合評価	A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	地域振興活動を通じて部員間の結束が強まることも部員としての意識も高まり地域の活性化にも寄与するため、引き続き実施する。部員になることのメリットと活動内容のPRを図り、部員増と参加者増に努める。	○
部会委員会事業	商業・建設工業などの各部会や必要に応じた活動を行うことで、情報交換や交流の機会を創出し、参加企業の発展に資することを目的とする。	・商業部会 総会、役員会等 7回 58名 ・建設工業部会 総会、役員会等 5回 30名 ・食品部会 総会、定例会等 5回 604名	小規模事業者	指標	参加人数 (達成度 97.5 %)	指標	(達成度 %)	同業種が集まり、話し合うことで、交流を図ることができた。経営者は多くの課題を抱えており、同業種ならではの実務的な情報交換の場となり情報収集・課題解決のヒントに繋がった。	総合評価	B	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	情報交換の場となり事業継続のきっかけづくりになるため、引き続き事業を実施していく。ネットワークづくりや事業所のPRを図る事業を充実させる。	
福利厚生事業	中小零細企業の経営や雇用の安定を図るために各種共済制度の普及や従業員の福利厚生を支援することにより、企業の健全な育成に資することを目的とする。一年に1回健康診断の実施義務があるが、小規模事業者等においては、なかなか受診する機会がないため、商工会が主体となり受診機会を提供することで健康増進を、安定的な企業経営を図ることを目的とする。	・中小企業共済加入人数 32口 ・健康診断受診事業所数 29事業所	小規模事業者	指標	中小企業共済加入人数 (達成度 106.7 %)	指標	健康診断参加事業所数 (達成度 116.0 %)	人手不足が問題となる中、各種共済制度の普及・加入により福利厚生充実が図られ、人材確保や離職率の低下に繋がった。また、加入による手数料収入により自己財源の確保にも繋がった。健康診断事業では受診機会を提供することで、従業員の福利厚生の充実が図れ、経営の安定に繋がった。	総合評価	A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	自己財源確保及び事業所の福利厚生の充実が図れ、人材確保による経営体制の安定に繋がるとともに、引き続き実施していく。健康診断事業については周知に努め、より多くの事業所の参加を図る。	
労働保険事業	事業主等の委託を受けて、事業主に代わって労働保険料の申告納付その他労働保険に関する各種届出等の事務手続きを行うことにより中小事業主の事務負担を軽減し、労働保険の適用促進及び労働保険料の適正な徴収を図ることを目的とする。	・労働保険受託事業所数 124事業所	小規模事業者	指標	受託事業所数 (達成度 99.2 %)	指標	(達成度 %)	労働保険に関する事務の受託を通じ、適用促進や適正な徴収の促進を行うことができた。また、国・県の各種労働施策の普及及び利用促進にも繋がった。	総合評価	A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	企業の事務手続の軽減が図られるため引き続き実施する。労働保険の適正加入による人材確保に繋げようという、制度普及・加入促進を行い、受託事業所の増加に努める。	
税務関係団体指導事業	青色申告会・法人会等の税務支援団体・地域貢献団体の活動を支援することで国・地方公共団体、地域社会へ貢献し、ひいては商工業の活性化に資することを目的とする。	・法人会会員数 167人 ・青申会会員数 266人 記帳指導 2回 年末調整指導 2回 決算申告指導 2回	小規模事業者	指標	法人会・青色申告会会員数 (達成度 96.2 %)	指標	(達成度 %)	税の啓発や租税教育を推進する青色申告会、法人会と連携・協力を行うことで、ネットワークづくりと情報交換の活性化が図れ、小規模事業者の経営力向上に寄与することができた。地域貢献事業として市民を対象としたセミナーを開催し、団体のPRが図れた。	総合評価	B	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	商工会との事業連携による相乗効果のメリットを活かすため、相互の会員数の増加に努め、組織力強化を図り、地域社会に貢献する。	
人材育成事業	地域の総合的な改善発達を図ることを目的として、珠算振興と将来の経営者としての人材育成に資するため全国連と県連主催の珠算検定事業を実施する。珠算能力のより一層の向上に役立てるため支部選抜珠算大会へも参加する。	・珠算検定試験 4回 9名 ・海部商工会選抜珠算競技大会(12月2日)参加 9名	児童・生徒	指標	検定受験者数及び大会参加者数 (達成度 90.0 %)	指標	(達成度 %)	青少年の健全な育成や経営者としての人材育成、珠算振興に繋がることができた。	総合評価	B	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	地域の将来を担う青少年の人材育成、経営者としての能力向上に繋がることから、引き続き実施する。	
若手後継者等育成事業	地域経済を支える小規模事業者の減少対策として若手経営者・後継者の経営力向上を目的として、セミナーを開催し、スムーズな事業承継と経営者としての資質を養う。地域の小規模事業者の指導者となる人材育成のため、青年部・女性部の交流機会として中部ブロック大会に参加する。	・講習会等 2回 19名 ・青年部全国大会(11月27日)参加者数 3名 ・女性部全国大会(10月23日)参加者数 1名 ・参加者満足度 100%	小規模事業者	指標	セミナー参加者及び全国大会・中部ブロック大会参加者数 (達成度 54.8 %)	指標	参加して満足した者の割合 (%) (達成度 142.9 %)	講習会にワーク時間を盛り込むことで、参加者の理解度向上が図れ経営者としての資質向上が得られた。全国大会の参加により全国の青年部・女性部代表との交流ができ、先進的な事例を学べたことで、経営者としての見識を深めることができた。	総合評価	B	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	講習会の開催により経営者・後継者の経営意欲向上と意識改革に繋げる。また地域のリーダーとしての自覚を促すため、全国大会等への参加を引き続き積極的に進めていく。	○

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。